

平成 30 年度第 2 回契約監視委員会議事概要

日 時：平成 30 年 12 月 25 日（月）10：00～12：00

場 所：理化学研究所 東京連絡事務所

出席者：委 員 江戸川 泰路（新日本有限責任監査法人 企業成長サポートセンター パートナー
公認会計士）

委 員 辻 純一郎（J&T 治験塾 塾長、公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団評議員、
EPS ホールディングス(株)社外監査役）

委 員 野元 学二（レックスウェル法律特許事務所 弁護士）

委 員 石井 康彦（国立研究開発法人理化学研究所 監事）

委 員 松尾 康博（国立研究開発法人理化学研究所 監事）

説 明 者 等 筑波事業所 研究支援部 経理課 斉藤課長 峯山調査役
神戸事業所 研究支援部人事課 長坂課長、星野副主幹、松山室員
生命機能科学研究センター 生体モデル開発ユニット 清成エディター
契約業務部 木村契約第 1 課長 中村契約第 2 課長、薄葉副主幹 小池副主幹、
石川特別嘱託職員
革新知能統合研究推進室 生越室長
播磨事業所 研究支援部 契約課 岩下課長、高山副主幹

事 務 局 監事・監査室 村上室長 日紫喜室員

議事概要：

1. 平成 30 年度第 1 四半期締結の契約点検（リスト点検）

平成 30 年度第 1 四半期に締結した契約 1,200 件の一覧表についてのリスト点検を行った。

2. 平成 30 年度第 1 四半期締結の契約点検（個別点検）

平成 30 年度第 1 四半期に締結した契約の一覧表から委員が選定した、本部及び 3 事業所 5 案件（一般競争契約 3 件（役務 2 件、工事 1 件）、公募随意契約 1 件（物品）、不落随意契約 1 件（役務）について、予定価格の立て方、入札に至るまでのプロセスを丁寧に検証した。抽出したこれらの案件は、落札率が 100%の案件、及び高額契約案件、低落札率案件である。

より多くの業者が入札できるよう仕様書を工夫している案件が見受けられた。

実際の落札率が低い案件については、参考見積の中身の詳細を検討して、予定価格の立て方を精査する必要があるのではないかとの意見があった。

また、現時点では、公募随契の形式であるが、複数者入札の将来的な可能性を探る努力は今後も続けていくことが望まれる案件がある一方、価格の妥当性と品質の維持を考えた場合、このまま入札を続けることが望ましいのか、随意契約にした方がよいのではないかと思われる案件も見受けられた。

3. 『超音波診断画像のアノテーションツール開発』について

契約業務部契約 1 課及び要求元である理研 A I P－富士通連携センターから説明を行い、次の論点を中心に討議した。

1) 共同契約に基づく委託契約。(随意契約)

2) 共同契約の相手から契約上「秘密情報」を移転できる先は共同研究相手が認める者であり、そのことの随意契約になる。

データは共有するが、ノウハウに秘密条項が含まれているとの理由から、富士通の了解のもとでアノテーションを使用することができる。使用には制限がかけられる。その点についての契約内容の妥当性等を検討した。本件は、引き続き討議することとした。

4. その他報告事項

1) 契約監視員会設置規程について

改正規程に基づき、契約監視委員会が意見具申を行う相手を理事（総括担当）から理事長へ変更【第2条第1項】の旨、報告した。

2) 次回委員会での討議事項についての照会：PFI方式による事務棟建設について議題に取り上げる旨、照会した。

5. 平成30年度第3回契約監視委員会開催について

次回の平成30年度第3回委員会は、平成31年3月14日に行うこととした。

以上